ESD って何をしていいかわからない・・・という疑問にお答えします

近畿地域 Education for Sustainable Development 国連持続可能な開発のための教育の10年

ESDフォーラム

人権･平和･開発･環境
ジェンダー･福祉などの
教育の担い手 大集合

まちづくりや子育ての
手助けになる
可能性「大」

企業の社会的責任
(CSR)に
取り入れてみては？

ESDとは？

持続可能な開発に必要な教育を推進する国連のキャンペーン(2005年～2014年)です。
「この地球を未来へつなぐ学びの 10 年」ということもできます。私たち一人ひとりがさまざまな「つながり」の中で生きていることに気づき、よりよい社会づくりに参画するための力をはぐくむ教育です。
フォーラムでは、具体的に実践している西宮市地域や豊中市地域の取り組みから、色々な主体がつながって教育を実践する良さや、困難さを共有し、「どうしたら自分のところでもESDができる?」という疑問にお答えします。

日程: 平成 19 年 3 月 7 日（水） 13:30～16:30

会場: アピオ大阪（大阪市立労働会館）203 号会議室

大阪市中央区森ノ宮中央 1-17-5　06-6941-6332　ＪＲ環状線・地下鉄「森之宮」駅下車すぐ

① ESDに関する基調講演
- 岩崎　裕保　氏（帝塚山学院大学国際理解研究所教授、ESD-J 理事）

② 近畿地域でのESD促進事業採択地域のとりくみ事例発表
- 豊中市地域　井上　和彦氏（とよなか市民環境会議アジェンダ 21　事務局長）
- 西宮市地域　添田　晴雄氏（こども環境活動支援協会　理事）

③ ESDに関するパネルディスカッション
- コーディネーター：岩崎　裕保氏
- パネリスト：井上　和彦氏、添田　晴雄氏、辻　幸二郎氏（大阪府立西淀川高等学校教諭）

近畿での ESD の取り組みがわかります

学校での取り組みも参考になります

□主な対象：いろいろな人たちとつながって教育を実践したい人たち
NGO/NPO、行政、教育関係者、企業（ＣＳＲ担当者）など

□定　　員：８０名（要申込、先着順）

□参 加 費：無料

□申込方法：所属、氏名、連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）を E-mail か FAX で申し込みください。

□主　　催：近畿地方環境事務所、きんき環境館　□運営協力：（財）公害地域再生センター（あおぞら財団）

□後　　援：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、豊中市、西宮市及び上記府県市教育委員会、(特活)持続可能な開発のための教育の１０年推進会議（ESD-J）、（申請中）

お申込・お問合せ ＊＊＊＊＊

(財)公害地域再生センター（あおぞら財団）〒555-0013　大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル４階
TEL：06-6475-8885　　FAX：06-6478-5885　E-mail＝webmaster@aozora.or.jp　http://www.aozora.or.jp

岩﨑　裕保　氏　プロフィール

1948 年生。同志社大学大学院アメリカ研究科修了。公立中学校（英語・社会）教員、私立中・高等学校（英語）教員、等を経て、現在帝塚山学院大学文学部国際文化学科教員・国際理解研究所兼任教員。（特活）開発教育協会副代表理事、ニュージーランド学会理事、共著『新しい開発教育のすすめ方 I/II』（古今書院）、翻訳『地球市民教育のすすめかた』（明石書店）など。

豊中市地域のとりくみ

豊中では、これまで行われてきた持続可能な社会づくりに関する各分野の活動を基礎にし、そこに ESD としてさらに多様な視点を取り込めるよう、新しいつながりを作っていくことから始め、国際、環境、人権、ジェンダー、福祉、子育て、教育、市民活動などに関わる行政機関、外郭団体、NPO などの様々な団体が、ゆるやかに「ESD とよなか」を形づくってきました。そして、学校でも地域でも多様な主体が ESD を実践し、あらゆる人々が「学び合い」の機会に接することができるよう ESD への入口を広げるとともに、分野を越えた奥行きを深めるような取り組みを進めていこうとしています。

豊中市・豊中市教育委員会・(財) とよなか国際交流協会・とよなか人権文化まちづくり協会・(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ 21・(特活)とよなか市民活動ネットきずな・(財) とよなか男女共同参画推進財団・(社) 豊中市社会福祉協議会

西宮市地域のとりくみ

西宮市は 2003 年 12 月に全国初の「環境学習都市宣言」を行い、環境学習を通じた持続可能なまちづくりを目指して様々な取り組みを進めています。2006 年 3 月より「ESD 検討委員会」を設置するなど ESD 推進に取り組んでおり、2006 年 10 月からは「ESD 推進協議会」を設置し、西宮市における環境、福祉、人権、平和、経済など様々な地域課題を包括的に考えることのできる市民や社会の育成プログラムなどの策定に向けた検討を行うことを目的に、ESD について共通理解を図る相互学習を行っています。

西宮市・西宮市教育委員会・西宮商工会議所・(社福)西宮市社会福祉協議会・生活協同組合コープこうべ・西宮市教職員組合・神戸新聞社・NPO 法人こども環境活動支援協会など

大阪府立西淀川高等学校のとりくみ

環境学習を教育の柱の1つとし、チューリップ栽培に加えて「環境」を学校設定科目として設置し、公害学習を中心としたプログラムを 3 年生全員に行っています。地域のあおぞら財団や西淀自然文化協会、出来島保育園と連携し、文化祭や校外学習などで地域の環境問題と結びついた取り組みを行っています。

近畿地域 ESD フォーラム申込用紙

FAX：06－6478－5885

1．氏名		2．所属	
3．住所	〒		
4．TEL		FAX	
5．E-mail			
6．質問事項（活動での課題、フォーラムで聞きたいことなど）			

※受付確認の連絡は行いませんので、定員をこえて受付できない方にのみ、その旨お知らせいたします。
※お申し込みいただいた個人情報は、本行事の申し込み管理および今後のイベント等の情報提供に限り使用し、近畿地方環境事務所で適正に管理します。